

○問題一 解答

- 問一 ア 媒介 イ 広義 ウ 俊敏 エ 年季 オ 従属
 問二 A ウ B オ C イ D エ E ア
 問三 ア 人間の外に客観的に実在している自然
 イ 人間の主体と関係を結ぶことによって成立している自然
 問四 1 私が釣りをする時にはマニュアルに忠実であるように気を使っていたことに気付いたから。
 2 だから川の
 問五 大いなる自然の世界
 問六 自然にかかわろうとする時に、マニュアルに従うのではなく自分の自由な方法でかわろうとする力。
 問七 自然哲学

○問題二 解答

- 問一 ア ちんざ イ そうごん ウ ふぜい エ 不全 オ 野放図
 問二 1 正正(堂々) 2 自信(満々)
 問三 1 ① 直喩(明喩) ③ 隱喩(暗喩)
 2 ① いつもそのことばかり考えていること。
 ③ とてもよく理解したこと。
 問四 コンカーというゲーム
 問五 自分の中の
 問六 猛毒なものを食べられるものに変えていく工夫には生きていくための必死な努力が感じられるから。
 問七 A ホース・チェスナッツ B トチノキ
 問八 ウ

○問題三 解答

- 1 エ 2 ア 3 ウ 4 オ 5 イ

○問題一 解答

- 問一 ア 鉢 イ 経路 ウ 取捨選択 エ 抽象 オ 伸張
 問二 肉
 問三 不思議な内的衝動
 問四 あたたかい血のかよった感じ
 問五 1 a 芸術は外の現実を認識すること
 b 自分の内部生命を表現すること
 2 もともと反 別解(私は内部生)
 問六 意識
 問七 B 2 C 1
 問八 意識という機能のうけとった刺激を変型したうえで、さらにそれをもとの姿に復元的に再構築する働き。
 問九 1 ○ 2 ○ 3 ○ 4 × 5 ○

○問題二 解答

- 問一 ア ひさ(し) イ 深紅(真紅) ウ ふさ エ よろこ(び)
 問二 ① 抜けるような青空 別解(ぬけるように青い秋空)
 ③ 目のさめるような紅葉
 問三 擬人法
 問四 足元は、落 別解(めざす林は)
 問五 A ウ B オ C ア D イ
 問六 美しい秋の
 問七 感動した心
 問八 大人と子どもがふれあうこと。
 問九 この文章の前半には家族で行った山葡萄摘みの様子が描かれているが、筆者の意図はむしろ後半部で絵本を読むことの意義を述べることにあり、前半部はそれをわかりやすくたどえた話と見るべきだ。

○問題三 解答

- 1 ウ 2 オ 3 イ 4 エ 5 ア